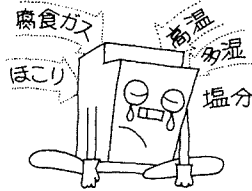
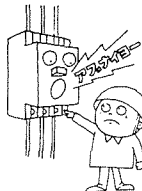
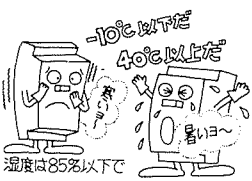
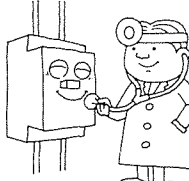
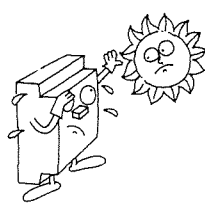
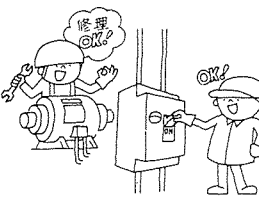
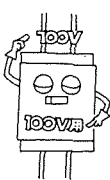
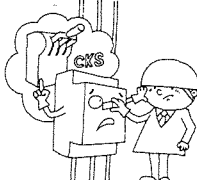
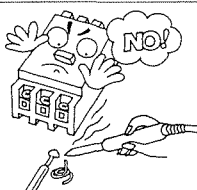
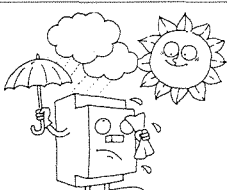
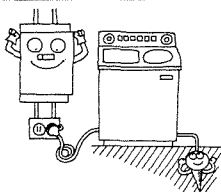
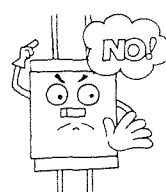
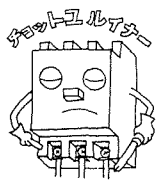
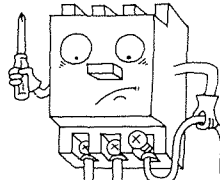
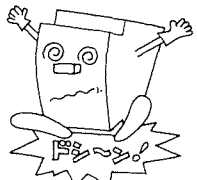
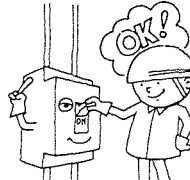


■取扱いと保守の注意

 高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、塩分などを含む環境での使用、保管は故障の原因になりますのでやめてください。	 人体での漏電しゃ断器の動作実験は、危険ですから絶対にしないでください。
 常規周囲温度は-10℃以上40℃以下、湿度は85%以下でご使用ください。 JISC 8371	 短絡しゃ断した場合は、必ずしゃ断器の正常動作を点検確認してください。
 直射日光の当る場所への取付けは避けてください。	 しゃ断動作した場合は、原因除去後でなければ再投入しないでください。
 取付け回路電圧と同じ定格電圧のしゃ断器を取付けてください。 〈使用可能電圧範囲 (P109参照)〉 〈定格電圧80%～110%の範囲〉	 開閉頻度の高い場合は、漏電しゃ断器を開閉器の代用として使用しないでください。
 接触不良の原因になりますからソルダーレスターミナルへの接続電線をハンダ固めしないでください。	 露天で使用しないでください。
 漏電しゃ断器を取付けても機器の接地は法規にしたがい確実に行なってください。	 正規使用状態で絶縁抵抗測定耐圧試験をしないでください。
 電線接続の締付けねじは、適正な締付トルクで締付けてください。	 漏電しゃ断器の性能を保つため使用開始後1ヵ月に1回以上は必ずテストボタンで定期的に動作状態を確認してください。
 取付作業終了後は、必ずテストボタンを押して正常な動作を確認してください。	 定期的に導電接続部のゆるみを調べてください。締付部のゆるみは異常発熱の原因になります。
 漏電しゃ断器は、重要な保安機器ですから、強い衝撃をあたえないよう充分注意して取扱ってください。	 常時閉路、または開路されている漏電しゃ断器は、定期的に開閉操作して接点に清掃作用をあたえてください。